

6 『新生』不敬記事事件

219 昭和10年6月19日 在天津川越総領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津の漢字紙が上海の週刊誌『新生』掲載の
不敬記事を転載につき我が方抗議の結果天津
市政府が漢字紙への処分実施について

別電 六月二十日発在天津川越総領事より広田外務
大臣宛第一六四号
右記事内容

天津 6月19日後発
本省 6月19日後着

第一六三號(極秘)

當地佛租界ニ在ル大報。ナル興味本位ノ小型漢字紙カ本月十
一日ヨリ同十三日迄別電第一六四號ノ通ノ要旨ノ「閑話皇
帝」ナル題目ノ下ニ秋。水。ナル者ノ雜文風ノ記事ヲ掲載セル
コトヲ發見セル處何分同紙カ佛租界ニ於テ發行サレル關係
上之カ處理方ニ關シ慎重考慮ノ末商震ヲシテ之ヲ處理セシ
ムルコト最適當ナリト認メタルニ依リ六月十五日館員ヲ商

震ノ許ニ派シ商ヲシテ右新聞ヲ熟讀セシメタル上事件ノ頗
ル重大ナルコトヲ說示シ至急適切ナル措置ヲ要求セル處商
震ハ百万陳謝ノ上事件ノ性質ニ鑑ミ緊急措置ノ要アルモ
着早々ニシテ新聞紙ノ取締等ヲ知悉セス又佛國租界トノ關
係モアルヲ以テ明日迄熟考ノ餘裕ヲ與ヘラレ度ト述ヘタリ
翌日早朝商ハ市政府顧問孫潤宇ヲ派シ來タリ昨夜取調ノ結
果大報ハ天津人劉。雲。若。ナル者ノ經營スル日刊小新聞ニシテ
政治記事ヲ扱ハサル一娛樂新聞ナルカ御申聞ケノ記事ハ本
年五月四日上海ノ新生。週刊社發行ノ「新生」ナル週刊雜誌
ノ同一題目ノ記事ヲ其ノ儘轉載セルモノナル處市政府トシ
テハ本件ニ關シ責任ヲ

痛感セルニ依リ不取敢同夜天津警備司令部訓令ヲ以テ六月
十五日以降停刊處分(停刊トハ事實廢刊ノ意味ナル旨孫ヨ
リ特ニ説明アリタリ)ニ附シタル旨申出テタリ

此ノ際斯クノ如キ不敬事件ヲ惹起セルハ寔ニ迷惑千萬ナル
カ大報カ佛國當局ノ許可ノ下ニ發行セラルルニ拘ラス商震
カ同紙ノ事實上ノ廢刊ヲ斷行セルニモ顧ミ此ノ際トシテハ
絶對ニ同紙ノ更生(變形變名ノ更生ヲ含ム)ヲ許ササルハ勿
論當地漢字紙ニ對シ一律此ノ種記事ヲ掲載セシメサル様

措置セシムル等充分將來ニ對スル保障ヲ取付クルコトトシ
解決致度キ處右ニテ差支ナキヤ至急何分ノ御電訓ヲ請フ
尙前記週刊雜誌「新生」ハ今尙書店頭ニ展示サレ居ル模様
ナルニ付記事内容ノ喧傳ヲ阻止スル爲祕密裡ニ市政府ヲシ
テ之ヲ買取ラシムルコトトセリ

支、北平、南京ニ轉電セリ
支ヨリ上海ニ轉報アリ度シ

(別電)

天津 6月20日後発
本省 6月20日後着

第一六四號(極秘)

英日等ノ各皇帝ハ骨董ナル故博物館ヘ送ラハ如何現在ノ皇
帝ハ昔ト異リ有名無實ナリ日本ノ天皇ハ生物學者ニシテ世
襲ニ依リ天皇タルニ止マリ外賓接見、觀兵式、諸儀式上其
ノ必要アル場合ノ外人民ハ天皇ヲ忘レ居レリ日本ノ眞ノ統
治者ハ軍部及有産階級ナリ生物學ノ研究ヲ喜フ日本天皇カ
一意研鑽セハ其ノ成果ハ現在以上ナルヘシ聞ク所ニ依レハ
天皇ハ生物學上隨分發見アル由ナルカ學術上ヨリ言ヘハ天

皇タルハ惜ムヘシ現在ノ日本ハ此ノ天皇ナル一個ノ骨董ヲ
大切ニ爲シ居レルカ日本現在ノ統治上ニテハ天皇ヲ國內各
層ノ衝突ノ緩和ニ供シ一部ノ人間ノ罪惡ヲ粉飾スル爲ナル
ヘシ

伊國皇帝ハ「ムツソリーニ」ノ獨裁ノ爲新聞ニモ現ハレス
英國皇帝ハ昨年ノ皇太子ノ結婚騒ニ依リ想起セルカ彼ハ常
ニ宮中ニ引籠リ時々狩獵ヲ爲ス英人ハ平氣ニテ皇帝ヲ一種
ノ高貴ナル裝飾品ト爲シ居レリ「ユーゴースラビヤ」及暹
羅ニテハ十一才ヤ九才ノ子供ヲ英邁ナル幼主ナリ等稱シ居
レルカ右ハ戲談トシカ思ハレス尙最モ憐ムヘキモノトシテ
ハ僞滿洲國僞皇帝溥儀ヲ舉ケサル可カラス現在皇帝タルハ
傀儡ト同様ナルカ溥儀ハ傀儡ノ傀儡ナリ故ニ愈々皇帝タル
悲哀ヲ感ス清朝末路ノ皇帝ト同一ナルカ如シ
支、北平、南京ヘ轉電セリ
支ヨリ上海ヘ轉報アリタシ

220 昭和10年6月21日 広田外務大臣より
在上海石射総領事宛(電報)

『新生』不敬記事事件に対し嚴重措置方訓令

本省 6月21日後5時40分發

第一二三號(極秘)

天津發本大臣宛第一六三號及第一六四號ニ關シ

本件記事ハ貴地週刊雜誌新生ノ轉載ナル由ニ付貴官ニ於テ

モ既定ノ方針ニヨリ嚴重措置セラレ度

北平、天津、南京ニ轉電セリ

支ニ轉報アリタシ

221 昭和10年6月21日 広田外務大臣より
在天津川越總領事宛(電報)

天津漢字紙の不敬記事轉載事件に対し経営者
等の処罰を市政府へ要求方訓令

本省 6月21日後6時20分發

第八六號(極秘)

貴電第一六三號及一六四號ニ關シ

本件内容ハ極メテ不都合ナルニ付社長又ハ責任記者ノ處罰
ヲモ實行セシメ度尤モ既ニ廢刊トナリ右要求實行カ實際上
困難ナルニ於テハ支那側力速カニ處置ヲ取りタルコト及事
實上ノ廢刊ヲナスヘキコトニ鑑ミ特ニ情狀ヲ酌量スル旨申

聞ケラレ再應嚴重將來ヲ戒メタル上局ヲ結ハレ差支ナシ

北平、南京、上海へ轉電セリ

上海ヨリ支へ轉報アリ度

222 昭和10年6月21日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

『新生』不敬記事事件解決に向けた我が方の
中国側に対する要求事項につき請訓

上海 6月21日後發
本省 6月21日後着

第一九六號(至急、極秘)

閣下宛天津發電報第一六三號ニ關シ

本件不敬記事ヲ當館ニ於テ逸早く發見シ得サリシハ誠ニ申
譯無ク恐懼ニ堪ヘサル次第ナルカ右天津來電ニ基キ取調ヘ
タル結果該雜誌發行所新生週刊社ハ當地共同租界福州路復
興里ニ在リ編輯兼發行人ハ杜重遠該不敬記事執筆者ハ易水
(匿名)ナルコト及該雜誌新生ハ一部四仙ノ週刊小雜誌ナル
コト等判明セルカ本件善後措置トシテハ本官ヨリ先ツ吳市
長ニ對シ口頭ヲ以テ

(一)各書店ニ於ケル賣殘ノ該雜誌ヲ一律回收シ發賣頒布轉載
ヲ禁止スルコト

(二)該雜誌ノ廢刊

(三)雜誌責任者及執筆者ノ處罰

(四)市長ノ謝罪並ニ

(五)將來ノ保障

五項ヲ先方ノ自發的措置トシテ實行シ且其ノ措置振ヲ書面
ヲ以テ當方ニ提出方申入レ先方ニ於テ右各項ヲ自發的ニ全
部實行セハ之ニテ本件ヲ解決スルコトト致度處右ニテ差支
無キヤ至急何分ノ御回答ヲ請フ

支へ轉報シ北平、天津、南京へ轉電セリ

223 昭和10年6月24日 在上海石射總領事より
広田外務大臣宛(電報)

『新生』不敬記事事件に関し我が方要求事項
を上海市政府へ申入れについて

上海 6月24日後發
本省 6月24日後着

貴電第一二六號ニ關シ(不敬記事ニ關スル件)

本官本二十四日市政府ニ兪秘書長ヲ往訪シ(吳市長ハ先週
土曜日ヨリ病氣引籠リ中)本件記事ヲ指摘シ市政府側ニ於
テ其ノ自發的措置トシテ速ニ往電第一九六號ノ措置ヲ講シ
且其ノ結果ヲ書面ヲ以テ當方ニ提出方申入レタル處兪ハ本
件新生ノ不敬記事ハ市政府側ニ於テモ最近之ヲ發見シタル
カ甚タ不都合ニシテ友邦元首ニ對シ寔ニ申譯無シトテ市長
ニ代リテ遺憾ノ意ヲ表スル旨述ヘ尙市政府トシテハ不取敢
公安局及警備司令部ニ對シ該雜誌ノ二ヶ月間停刊並ニ之カ
沒收及發賣禁止ノ措置方命令濟ニシテ且新聞檢査所ニ命シ
テ右雜誌カ上海以外ノ地方ニ郵送セラルルコトヲ阻止スル
様手配濟ナリト述ヘタルヲ以テ本官ヨリ本件ハ從來ノ不敬
事件ニ比シ罪狀甚タ重ク我方トシテハ期限付停刊ノ如キ手
緩キコトニテハ絶對ニ承知出來スト答ヘタル處兪ハ貴方ニ
於テ二箇月停刊ニテ不十分ナリト認メララルニ於テハ廢刊
方ヲ考慮スヘク

(2)又責任者執筆者處罰ノ點ニ付テハ本件カ刑法上ヨリモ行政
上ヨリモ處罰シ得ルヲ以テ其ノ何レニ依ルヘキヤニ付目下
考慮中ナリ何レニセヨ本件ニ付テハ市政府トシテモ充分責

第一七三號(極秘)
貴電第八六號ニ關シ(天津大報不敬記事)

二十七日商震ニ對シ往電第一六三號末段ノ將來ニ對スル保障並ニ經營者ニ對スル處罰ヲ要求セル處即坐ニ之ヲ承諾セリ

支、北平、南京へ轉電セリ
支ヨリ上海へ轉報アリタシ

225 昭和10年7月(2)日
在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

『新生』不敬記事事件に關し国民党檢閱機關の責任を追及し解決に向けた要求事項を唐有壬へ申入れについて

上海 發
本省 7月2日後着

第五四〇號(至急、極秘)
貴電第一七九號ニ關シ

汪兆銘ト交渉ノ爲赴寧準備ノ矢先七月一日汪來滬シ病院ニ入院シタルニ付二日館員ヲシテ見舞ハシメタルニ近日中ニ

任ヲ感シ居ル次第ナルヲ以テ何レ二三日中ニ日本側希望通り全部實行シ且其ノ結果ヲ公文ヲ以テ貴方ニ通知スヘシト答ヘタルニ付本官ヨリ斯ル不敬事件カ過去ニ於テモ中國各地ニ於テ屢發生セルハ兩國國交ノ爲甚タ遺憾ナルニ付此ノ際市政府ヨリ國民政府ニ提議シ全國的ニ雜誌新聞等カ今後絶對ニ日本皇室ニ關スル記事ヲ掲載セサル様手配セシムルコト然ルヘキ旨申入レタル處愈ハ先般國府ヨリ全國的ニ國交ニ障害アル記事掲載方ノ禁止命令アリタル矢先斯ル不祥事ヲ見タル次第ナレハ早速市政府ヨリ本件ニ言及シ重ネテ貴總領事申出ノ趣旨ヲ全國的ニ通達スル様提議スヘシ云々ト答ヘタリ不取敢

支ニ轉報シ北平、天津、南京ニ轉電セリ

224 昭和10年6月28日
在天津川越總領事より
広田外務大臣宛(電報)

天津漢字紙の不敬記事轉載事件に關し經營者の処罰を市政府応諾について

天津 6月28日前發
本省 6月28日後着

ハ到底面談ノ見込無キコト判明(最近膽石ノ病ナルコト判明昨日ハ高熱ノ爲眩暈甚シク引續キ靜臥中)シタルニ依リ恰モ當日來滬セル唐有壬(部長代理ノ旨發表アリ)ノ來訪ヲ求メ交渉セリ

一、先ツ本使ヨリ石射總領事ト吳市長トノ交渉ニ依リ市政府側ノ措置トシテハ雜誌責任者及執筆者ニ對スル司法(處分)ノ點ヲ除キ一應解決シタルコト然ルニ本件記事ニ關シ黨部ニ於テモ重大ナル責任アルコト判明シタル次第ヲ告ケ事件ノ重大性ニ關シ篤ト說示シ尙兩國關係打開ノ點ヨリモ對日二重政策ノ非難ヲ除クコト是非共必要ナル次第ヲ說明シタル上此ノ機會ニ於テ中央黨部ヲシテ同黨部カ政府ノ對日政策ヲ支持シ政府ト一致シ合作スルモノナル旨ヲ闡明スル様支那側ノ自發的措置ヲ要望スル旨嚴重申入レ

二、次テ本件直接ノ解決條件トシテ冒頭電中ノ(一)(二)(三)ノ三項ヲ要求スル旨申入レ右三項ヲ記載シタル「メモ」ヲ手交シ右ハ最小限度ノ要求ナルコト及事件ノ性質ニ鑑ミ至急措置セラレ度キ旨ヲ附言申入レタリ

三、右ニ對シ唐ハ本件事態ノ重大ナル次第ハ南京總領事館及

陸軍武官室側ヨリモ話ヲ承リ居リ政府トシテハ非常ニ恐懼シ居レリトテ一應遺憾ノ意ヲ表シタル上御申出ノ件ハ充分了解セルニ付本日出來得レハ直ニ汪部長ニ相談スヘク若シ部長ノ病勢ノ關係ニテ面會出來ストモ成ルヘク今夜發歸寧シ關係當局ト相談スヘシト答ヘタリ

四、尙本使ハ上海發南京宛電報第三五號雜誌責任者等司法處分ノ點ニ關シ重ネテ唐ノ注意ヲ喚起シ此ノ際國民政府ニ於テ責任者ヲ重キニ從ヒ處罰方適當ノ方法ヲ以テ指導スル様手配セラレ度キ旨申入レ尙又事態ノ紛糾ヲ避クル爲前顯各項何レモ出來得ル限り迅速ニ措置セラレ度キ旨繰返シ念ヲ押シ置ケリ

北平、南京、天津へ轉電シ、上海へ轉報セリ

編注 在上海總領事館の調査の結果、日刊刊行物以外の出版物はすべて国民党宣傳委員會圖書雜誌審查委員會において檢閲していることが判明したため、有吉大使は出先軍側とも協議の上、次の諸項を中國側に申入れることを七月一日請訓した。

(一)檢閲ノ直接責任者ノ處分

(二) 檢閱委員會直接監督者ノ謝罪

(三) 將來ノ保障トシテ中央黨部ヨリ各地方黨部檢閱機關ニ對シ將來我方ニ對スル不敬記事ヲ絶對ニ掲載セシメサル様明令ヲ出サシムルコト(以上三項ハ要求條項)

尙希望條項トシテ此ノ機會ニ於テ國民政府ニ於テ自發的ニ黨部ヲシテ政府ノ對日政策支持方ヲ宣明セシムル様仕向クルコト

本省はこれを承認し、嚴重交渉方回訓したが、さらに七月三日、外陸海三省協議の結果、右三項に加えて左の一項を要求することとし、同日追加訓令を發した。

「(四) 中央黨部ヲシテ各地方黨部ニ對シ一切ノ排日ヲ停止セシムヘキ明令ヲ發セシムルコト」

(以上、昭和十年十二月、東亞局第一課作成の議會調書「最近支那關係諸問題摘要(第六十八議會用)上卷」による。)

226

昭和10年7月(5)日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

尙冒頭貴電末段上海ニ於ケル黨部ノ活動停止方ニ付我方ニ

於テ強キ希望ヲ有シ居ル次第ハ申入レ置キアルモ本日磯谷武官ヨリ雨宮武官宛東京ハ本項ヲ「希望事項ノ通告」中ニ加フルコトヲ承認シ來レルニ付實現方努力スヘキ旨訓令アリタル趣ナルカ本官トシテハ本項實現ヲ要求スル氣構ニテ交渉ヲ續クヘキヤ爲念御回電アリ度シ

大臣、北平、天津へ轉電セリ

上海へ轉報アリ度シ

227

昭和10年7月(6)日

在中国有吉大使より
広田外務大臣宛(電報)

上海での国民党活動停止方要求は『新生』不敬記事事件解決条件の中国側履行振りを見て
実行方判断する旨須磨總領事に通報

上海

発

本省

7月6日後着

第五四九號(極秘)

本使發南京宛電報

第一五二號

『新生』不敬記事事件解決のための希望事項

として国民党が自発的に國民政府の對日政策支持を声明するよう唐有壬に申入れについて

南京

発

本省 7月5日後着

第六七九號

本官發支宛電報

第六七一號

貴電第一四九號ニ關シ

本五日唐有壬ニ對シ御來訓ノ趣旨詳細申入レ黨部ノ態度闡明方ニ關スル我方申出ヲ早速自發的ニ實行スル様念ヲ押シタル處唐ハ右ノ點ハ充分承知シ居リ之カ實現方葉楚槍ト協議ヲ續ケ居ル次第ナリト述ヘタルヲ以テ如何ナル方法ヲ以テ闡明スルヤト突込ミタルニ唐ハ中央黨部ニ會合ニテモアル際御申入ノ趣旨ヲ明ニスル外無ク之カ爲ニハ多少遅ルルコトナルヘシト答ヘタルニ付本官ヨリ斯テハ大使ノ申出ヲ重視セサルコトナル次第ナレハ茲ニ更メテ本件解決ト同時ニ中央黨部ヨリ聲明書ヲ發出アリタシト強ク申入レタルニ右趣旨ニテ左右相談シ見ルヘシト答ヘタリ

貴電第六七一號後段ニ關シ

本件ニ關シテハ武官側トノ間ニ大使發大臣宛電報第五三五號ノ通り打合セタル後引續キ打合ヲ行ヒ特ニ往電第一四九號ハ當時陸軍武官ニ於テ中央ヨリ貴電引用ノ如キ電報ニ接シタル趣ヲ以テ本使ニ對シ上海ニ於ケル黨部ノ活動ヲ停止スルコトヲ改メテ我方希望條項トシテ支那側ニ申入レ其ノ考量ヲ求ムル様申出アリ話合ノ結果右希望條項ハ必スシモ要求四條項及聲明發出ト同時ニ實行セシムルコトヲ要件トセス支那側ニ於テ之等各種ノ措置ヲ執リタル後ノ狀況ヲ見タル上必要アラハ(例ヘハ市黨部ニ於テ中央黨部ノ措置ニ從ハス依然反日行動ヲ行フカ如キ場合)之カ實行ヲ迫ルコトトスヘシトノ含ニテ此ノ際申入ルルコトニ完全ニ意見一致シタルモノナリ從テ貴電雨宮武官ニ對スル本件實行方ノ訓令モ右ノ趣旨ニ依ルモノト存セラル右ニ付テハ當方ニ於テ直ニ右ノ點ニ付更ニ陸軍側ニ念ヲ押シ置キタリ

大臣、北平、天津へ轉電シ、上海へ轉報セリ

228

昭和10年7月(6)日

在南京須磨總領事より
広田外務大臣宛(電報)

『新生』不敬記事事件に対する我が方要求事項第四項と希望事項は別々に実行するよう唐有壬に申入れについて

南京 発
本省 7月6日後着

第六八二號(極秘)

本官發支宛電報

第六七三號

往電第六七一號及第六七二號ニ關シ

本六日唐有壬ト會見中央黨部ヨリ聲明書發出方決定セリヤト問ヘルニ唐ハ葉楚傖ト長時間打合セタル結果葉カ秘書長トシテ黨部ヲ代表シ排日ヲ爲スヘカラサル趣旨並ニ黨部ハ政府ノ對日方針ヲ支持スル旨ヲ闡明スル談話ヲ發表スルコトトセルニ付テハ往電第六六五號ノ(四)モ右ニ含マルモノト御了解アリ度シト述ヘタルニ付本官ヨリ第四項ハ第三項ト相並ンテ別ニ中央黨部ヨリ地方黨部ニ對シ命令トシテ發出方必要ナリト主張シ往電第六六五號(三)(四)モ右様ノ談話ヲ先ツ本官ニ内示方重ネテ要求シ置キタリ(本日中ニ唐ヨリ私人トシテノ本官ニ内示シ得ル様努ムル筈)

第六八七號

本官發支宛電報

第六七七號(大至急)

往電第六七五號ニ關シ

本七日唐有壬本官ヲ來訪、別電第六七八號葉楚傖ノ閣下宛書翰ヲ手交シ外交部トシテモ本件發生ニ對シ深甚ナル遺憾ノ意ヲ表スル旨口頭ヲ以テ述ヘタル後別電第六八〇號^(省誌)ノ審査委員會ノ組織ヲ示シ職員中秘書及朱子爽以下社會科學組全員(六名)ヲ罷免シ同委員會全部ヲモ近ク改組スヘキ旨ヲ述ヘ(往電第六七二號參照)更ニ我方要求第三項及第四項ニ關スル全國各省市黨部宛黨部命令案文別電第六七九號ヲ示シ明八日右ヲ各新聞ニ發表スルト同時ニ葉楚傖ヨリ秘書長トシテ黨部ヲ代表シ本年三月二日ノ排日取締令並ニ右ニ照應スル蔣介石ノ汪兆銘宛電報(往電第二二六號及第三三五號)ノ次第ヲ述ヘ將來黨部ニ於テハ是等ニ依ル國民政府ノ對日政策ヲ全然支持スヘキ旨ノ談話ヲ發表スル手筈ナリ(上海審查委員會改組ノ件ハ往電第六七〇號ノ通り發表済ナレハ改メテ言及セス又葉ヨリノ閣下宛書翰モ發表セス)ト述ヘタルニ付本官ヨリ右ノ趣旨閣下ニ傳達スヘシト答ヘ

就テハ右ニテ差支ナキヤ往電第六六五號ニ對スル貴見ト共ニ折返シ御回示相成度シ

大臣、北平、天津ニ轉電セリ

上海ニ轉報アリ度シ

229 昭和10年7月(7)日 在南京須磨總領事より
廣田外務大臣宛(電報)

『新生』不敬記事事件に対する我が方要求事項を中国側すべて応諾について

別電一 七月七日着在南京須磨總領事より廣田外務大

臣宛第六八八号

葉楚傖国民党中央執行委員會秘書長の謝罪書

簡

二 七月七日着在南京須磨總領事より廣田外務大

臣宛第六八九号

事件再発防止および排日活動停止に関する国

民党中央より各地方党部宛訓令

南京 発
本省 7月7日後着

タルニ唐ハ本七日張群、陳儀モ來寧シ全部ニテ相談ノ結果一日モ速ニ解決シ度キ希望ナルニ付テハ豫定通り明八日發表スルコトト致度シト申出テタルヲ以テ僭越乍ラ本官限り内諾ヲ與ヘ置キタリ御承認ヲ請フ
大臣、北平、天津ヘ轉電セリ
上海ヘ轉報アリタシ

(別電二)

南京 発
本省 7月7日後着

第六八八號

本官發支宛電報

第六七八號(大至急、別電)

上海新生週刊ノ貴國皇帝陛下ニ對スル不敬事件ニ關シテハ既ニ上海圖書雜誌審查委員會審査主任朱子爽、秘書項德言、審查員張增益等ヲ罷免シ該委員會ハ聽候改組シ並ニ各級黨部ニ通令シ以後同様事件ノ發生ヲ嚴重防止シ茲ニ謹テ深甚ナル遺憾ノ意ヲ表ス(歎忱)御了承ヲ請フ
大臣、北平、天津ヘ轉電セリ

上海へ轉報アリタシ

(別電二)

南京 發

本省 7月7日後着

第六八九號

本官發支宛電報

第六七九號(大至急、別電)

各省市黨部宛

本年五月上海新生週刊カ日本皇帝ニ對スル不敬文字ヲ登載シ反感ヲ惹起シタル處日本國體ハ萬世一系ヲ以テ世ニ顯ハレ其ノ國民ノ元首、皇室ニ對スル尊崇ハ世人ノ想像シ得ル所ニアラス故ニ記載評論等聊カニテモ憤マサル所アラハ直

ニ日本國民ノ感情ヲ害スルニ至ル、一年以來本會ハ不取敢戒告ヲ發シ幸ニ良ク確守セラレタル處測ラスモ該新生週刊ニ猶ホ此ノ意外ノ記事アリ既ニ嚴重處分ヲ行ヒタルカ將來再ヒ同様事件ノ發生ヲ防止センカ爲茲ニ特ニ再ヒ切實戒告ヲ果シ各現地出版界及各新聞社ニ轉飭シ爾後各種ノ記載或ハ評論ヲ嚴重防止シ決シテ形式視セシムル勿レ

次ニ本年六月十日ノ國民政府ノ命令ヲ准照シ所屬職員ニ對シ如何ナル排日運動ニモ參加スルヲ得サル旨嚴飭シ且人民ヲ勸導シ切實遵守セシムルコト肝要ナリ

大臣、北平、天津へ轉電セリ

上海へ轉報アリタシ

三 華北問題

1 一般問題

230

昭和10年1月⁽¹²⁾日

在中国若杉大使館參事官より
広田外務大臣宛(電報)

華北諸問題で一方的要求を続ける日本側の高
圧的態度は正を黃郛要望について

北平 發

本省 1月12日後着

第一三號(極秘)

⁽¹⁾黃郛近日南下ノ由聞込ミタルヲ以テ本官十日黃郛ト會見シ長時間ニ亘リ話合ヒタル處黃ハ過般汪兆銘ヨリ張群ヲ當地ニ派遣シ内政上ノ理由ニ依リ(要人等ノ内政部長割込運動及同部職員ノ動搖ヲ防ク爲)黃郛ノ内政部長就任方勸告ノ次第モアリ過日來ノ病氣モ略恢復セルヲ以テ十五日何應欽ノ來平ヲ待チ打合ノ上二十日頃蔣介石ノ南京行ト同時ニ南下シ蔣介石及汪兆銘ト協議ノ上内政部長就任ヲ引受クヘキ

ヤ又ハ同部長並ニ政務整理委員會長ノ現職ヲモ辭退スヘキヤ否ヤヲ決スル考ナル趣ナルカ黃ハ縷々今日迄關東軍ト國民政府トノ板挾トナリ過去一年間ニ亘リ關東軍トノ申合事項タル諸懸案解決ノ爲日本側ノ想像シ得サル苦境ニ立チタル事情ヲ説明シ而シテ同懸案解決ニ對シテハ日本側ニ於テモ相當之ニ好意的代償ヲ與フルモノト信シ一身上ノ危險ヲ冒シテ通車通郵並ニ設關ヲ斷行シ通郵ノ如キハ申合セ當初ニ於テハ單ニ關内外ニ於ケル地方的聯絡ニ過キサルモノト理解シ居リタルニ拘ラス進シテ全國的ニ通郵ヲ行フニ至リ更ニ電信電話航空聯絡ニ付テモ其ノ實行方法ヲ考慮中ナルニ拘ラス日本側ニ於テハ右申合事項ノ成立當時支那側ノ希望條項タル

⁽²⁾一、非戰區内ノ支那行政ニ關與セサルコト(特ニ保安隊ノ編入問題)

二、馬蘭峪ノ接收

三、多倫ノ接收